

10月

新着図書

愛蔵版 国宝 (愛蔵版)上・下

著者名： 吉田修一
出版社： 朝日新聞出版

任侠の家に生まれた立花喜久雄は、父の死をきっかけに歌舞伎役者・花井半二郎に引き取られ、梨園の世界へ足を踏み入れます。芸の道で共に育った半二郎の実子・俊介とは、出自の違いや芸への姿勢から次第に対立しながらも、互いに強く影響を与え合う存在となっていく。

喜久雄は女形として頭角を現し、やがて名跡「花井半二郎」を継ぐまでに成長。一方、俊介は舞台を離れ、全国を巡る武者修行の旅へ。事故によって義足となるも、舞台に復帰し、芸術院賞を受賞するまでに至ります。二人は『源氏物語』で再び共演し、静かな友情を育みながら、それぞれの芸と人生を全うしていきます。

普天を我が手に 第二部

著者名： 奥田 英朗
出版社： 講談社

太平洋戦争が勃発した。竹田志郎は、父に伴って渡米したが、そこで自分だけ捕虜となってしまう。ようやく帰国した後は日本の捕虜収容所の通訳となるも、目にしたのは看守の虐待が横行するずさんな実態だった。矢野四郎は、父の死後、親譲りの素行の悪さで少年院に入れられる。だが、出院後次第に悪化する戦況を受け予科練に入ることを決意。戦友と共に人間魚雷「回天」で出撃を期する。森村ノラは、ひょんなことから亀戸の喫茶店を任されることに。友人と闇米を買いに農村部へいたり、教会で預かった孤児たちを軽井沢へ疎開させるなど、母親譲りの活力で奔走する。・・・

イン・ザ・メガチャーチ

著者名： 朝井リョウ
出版社： 日経BP 日本経済新聞出版

あるアイドルグループの運営に参画することになった、家族と離れて暮らす男。内向的で繊細な気質ゆえ積み重なる心労を癒やしたい大学生。仲間と楽しく舞台俳優を応援していたが、とある報道で状況が一変する女。ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側——世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。

「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」

今日未明

著者名： 辻堂ゆめ
出版社： 徳間書店

◆デビュー10周年記念作品◆
大藪賞作家が描く 慟哭の犯罪ドラマ
あのとき、
もっと話せていたら
あの人を殺めずに、すんだのかな。
まだ引き返せる。
あなたがニュースになる前に。

鎌倉茶藝館

著者名： 伊吹有喜
出版社： 光文社

夫も仕事も失い、生きる気力をなくした美紀。最後の旅のつもりで訪れた鎌倉の片隅で、台湾茶カフェ「鎌倉茶藝館」を見つけ、魅入られ、働き始める。お茶や着物、古都の穏やかな日常に触れ、明るさを取り戻す美紀。そんな彼女に、年齢も性格も違う二人の男性が好意を持ち始めた。

今の私に必要なのは、安らぎ？ それとも、灼けるような想い？ ——苦みを知るから、決められない。

名手が描く、大人の恋。

ひきこもり家族

著者名： 染井為人
出版社： 光文社

長年ひきこもっていた19歳の僚太と44歳の大知。双方の家族が継いだのは、新宿にある自立支援センター。

強引に自宅から引き出された二人は、ほかの三人とともに、元警察官が営む熊本の研修施設で囚人のような生活を強いられる。施設長は巨体の大女だ。悪魔のような彼女に監視され、辛い日々が続く中、監獄のような扱いに抗い五人は施設長を殺めてしまう。必死にもがき、社会に怯えるように生きてきた彼らの終わりが始まる——。

謎の香りはパン屋から

著者名： 土屋うさぎ
出版社： 宝島社

2025年

第23回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作
大学一年生の市倉小春は漫画家を目指しつつ、大阪府豊中市にあるパン屋〈ノスティモ〉でアルバイトをしていた。あるとき、同じパン屋で働いている親友の由貴子に、一緒に行くはずだったライブビューイングをドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女のほうなのにどうして?

疑問に思った小春は、彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく……。パン屋を舞台とした〈日常の謎〉連作ミステリー!

祖母姫、ロンドンへ行く!

著者名： 榎野 道流
出版社： 小学館

祖母と孫娘の、笑って泣ける英国珍道中!!

正月の親戚の集まりで英国留学の思い出話を披露した孫娘(著者)に、祖母が「一度でいいからロンドンに行きたい、お姫様のような旅をしたい」と告げたことから、一族総出で支援する5泊7日の豪華イギリス旅行が決定! だが、そもそも著者が留学で培ったのは「行き当たりばったり体力勝負の低コスト海外滞在」ノウハウで、高齢の祖母をお姫様のようにもてなす旅とは真逆のスキルだ。資金面こそ親族の全面フォローがあるが、慣れないツアコン(秘書)役を任命された孫娘の心には不安しかない。

しかし、いざ現地に到着してみれば……大英博物館、ロンドン塔、ハロッズにフォートナム&メイソン、ロンドン三越にオリエント急行、5つ星ホテルのおもてなし、そして憧れのアフタヌーンティー…

…